

給食実施方式別 メリット・デメリット比較

	単独校調理方式 (自校方式)	親子方式	共同調理場方式 (センター方式)	デリバリー方式 (業者弁当方式)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ① 栄養バランスが良い食事の提供が可能 ② 弁当を作る労力が軽減 ③ 給食を適温(温かく・冷たく)で提供できる ④ 衛生管理が行いやすい ⑤ 配送の手間がない ⑥ - ⑦ 生徒と調理員のコミュニケーションがとれ、調理の苦労等が理解しやすい ⑧ 栄養教諭と学校との連携が密に図れ、食育の推進ができる ⑨ 調理から喫食までの時間が短い ⑩ 中学校独自のメニューが対応できる ⑪ - ⑫ - 	<ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ 保温できる食缶、保冷剤の使用で適温で提供できる ④ 衛生管理が行いやすい ⑤ - ⑥ 2校分合わせて調理するので効率が良い ⑦ - ⑧ 小学校(親)の栄養教諭が中学校(子)を訪問し、食育指導することができる ⑨ - ⑩ - ⑪ - ⑫ - 	<ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ 保温できる食缶、保冷剤の使用で適温で提供できる ④ 統一した衛生管理と調理員の育成指導ができる ⑤ - ⑥ 大量調理のため作業効率が良い ⑦ - ⑧ センター勤務の栄養教諭が各中学校を訪問し、食育指導することができる ⑨ - ⑩ 中学校独自のメニューが対応できる ⑪ - ⑫ - 	<ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ - ④ - ⑤ - ⑥ - ⑦ - ⑧ - ⑨ - ⑩ - ⑪ 短期間で給食導入可能 ⑫ 校時への影響がない ⑬ 初期投資の軽減
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 給食時間確保のため、校時の見直しが必要 ⑭ 配膳、残食、衛生面など生徒指導上の教師負担が増える ⑮ 各校で給食調理室の敷地確保と施設、設備投資が必要 ⑯ もっとも多くの調理人員が必要 ⑰ 各中学校で給食室の衛生管理が必要 ⑱ 食材管理等による学校事務職員の負担が増える ⑲ - ⑳ - ㉑ - ㉒ - 	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 同左 ⑭ 同左 ⑮ 親子方式を実施する小学校の改修工事が必要 ⑯ - ⑰ - ⑱ 食材管理等による学校事務職員の負担が増える ⑲ - ⑳ 給食運搬費(配送車、配送人員)が必要 ㉑ 受け入れ中学校の配膳室の設置が必要 ㉒ - ⑲ 生徒と調理員のふれあいの場が少なくなる ⑳ 栄養教諭と学校の連携がとりにくくなる ㉑ 中学校独自メニューの対応が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 同左 ⑭ 同左 ⑮ まとまった用地確保が必要 ⑯ - ⑰ - ⑱ - ⑲ 食中毒が発生した場合、食数が多いため被害が多くなる ⑳ 給食運搬費(配送車、配送人員)が必要 ㉑ 受け入れ中学校の配膳室の設置が必要 ㉒ - ⑲ 生徒と調理員のふれあいの場が少なくなる ⑳ 栄養教諭と学校の連携がとりにくくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ - ⑭ - ⑮ - ⑯ - ⑰ - ⑱ - ⑲ 食中毒が発生した場合、食数が多いため被害が多くなる ⑳ - ㉑ - ㉒ 業者選定と衛生管理の指導の徹底が必要 ⑳ 食育効果はあまり期待できない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 精華西中学校において、建設用地がないことから、隣接地に建設用地が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 山田荘小学校以外は大規模な改修(増築)が必要になる。山田荘小学校は能力的には精華南中学校との親子対応が可能だが、設備等の改修が必要。また、施設が老朽化しており将来的に大規模改修が必要となる ② 親・子ともに搬出・搬入のための改修が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ① 精華中学校・精華南中学校の敷地内で建設スペースの確保が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ① 近隣市町で対応できる業者の有無が不明(調理後2時間以内に喫食が可能な地域)
コスト	【初期投資】 <ul style="list-style-type: none"> ① 施設整備費(設計・建設・設備費) ② 食器等の整備 ③ - (建築・設備整備費:約9億円) 精華西中学校で別途用地費が必要になる	【初期投資】 <ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ 中学校の受け入れ設備整備費 	【初期投資】 <ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ 同左 (建築・設備整備費:約9億5千万円)2校の改造費含む	【初期投資】 <ul style="list-style-type: none"> ① 中学校の受け入れ設備整備費 ② 弁当箱を指定する場合弁当箱の整備費 ③ -
	【維持費】 <ul style="list-style-type: none"> ① 調理員等人件費 ② 施設設備等の整備改修費 ③ - (運営費:約4千万円+光熱水費)	【維持費】 <ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ 配送料 	【維持費】 <ul style="list-style-type: none"> ① 同左 ② 同左 ③ 同左 (運営費:約4千万円+光熱水費)運搬経費含む	【維持費】 <ul style="list-style-type: none"> ① 委託料 (運営費:約8千5百万円)

- 自校方式・・・学校内の敷地に調理場があり、その学校分のみを調理する。
- 親子方式・・・調理場をもつ自校方式の学校(親)が、調理場をもたない学校(子)の給食調理も行き、給食時間までに配送する。
- センター方式・・・複数の学校の給食を一括して調理し、給食時間までに配送する。
- デリバリー方式・・・給食民間業者が民間業者の施設で作った弁当を学校に届ける。